

教育学部

卒業認定・学位授与の方針 DP (ディプロマ・ポリシー)

◆人材育成の目的・学位授与の方針

教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成を目的とします。

こうした本学部の教育目的に基づいて編成・実施する教育課程において所定の単位を修得し、その学修成果として以下の資質・能力を身に付けた者には、学士（教育学）の学位を授与します。

教育学部の学修成果

- ①現代社会における教育と子どもに関わる課題に取り組むために必要な、文化・社会・自然・生命に関する幅広い知識・技能を持ち、他面的な考察による解決法を提案できる。
- ②教員として求められる読解力・文章表現力・数的処理能力及びICTリテラシーや情報収集分析能力を身に付け、他者と協働しながら課題を解決するコミュニケーション力を備えている。
- ③学校教育、教職、教科についての基本的理論及び概念を説明することができ、子どもたちへの指導力の向上を常に探究し、子どもたちの発達段階や個性に応じた指導ができる。
- ④教科及び教科教育等に関する専門知識と技能を持ち、教育課題の発見と解決に取り組むことができる。
- ⑤グローバル社会へ対応するための外国語運用能力や、異なる文化や価値観に対する多面的・多角的な思考力を教育活動に活かすことができる。
- ⑥学校教育の課題について地域社会と協働し、解決に取り組むことができる。
- ⑦教員としての倫理観と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちの成長を支えることができる。

教育課程編成・実施の方針 CP (カリキュラム・ポリシー)

本学部の学位授与の方針を踏まえ、教員として必要とされる専門的・実践的な知識や技能の修得を目的とするとともに、複数の校種の教員免許取得を可能とする教育課程を編成します。

①教育課程の編成

- (1)効果的に学修成果を上げるために、教養教育科目と専門教育科目を順次的・体系的に配置した教育課程を編成します。
- (2)教養教育科目については、教員等に求められる資質能力を高めるために、豊かな人間性の基盤となる広い視野と深い教養を身に付ける科目を配置します。
- (3)専門教育科目については、より多面的・多角的な視点から教員として必要とされる体系的な知識や技能の修得を目的として、各分野に対応した以下の科目を学びの順次性・学問的体系性に基づき配置します。
 1. 学校教育に関わる基礎的知識・技能を修得する科目
 2. 教育分野の現代的課題を発見し解決に取り組むための専門的知識・技能を修得する科目
 3. 確かな指導力を身に付け教員としての資質能力の向上を目的とする科目
 4. 教科の指導法、各校種に関わる専門性、子どもの発達への理解、それらに基づく教育段階の連携・接続の在り方を探求し、子どもへの実践的指導力を修得する科目

5. 多様な文化や価値観、地域社会との関わりについて知見を深め、協調性、協働性を育てる科目
6. 教員としての倫理観と社会的責任感を身につけた、自律した人材を養成する科目
7. 4年間にわたる学修の集大成として、学生自ら定めた研究課題について取り組む卒業研究

②教育の実施体制

- (1) 授業科目の教育内容ごとに、その分野の授業を行うのに適した専門性を有する教員が講義を担当し、科目によっては多面的・多角的な考察を可能とするために複数の担当教員を配置します。
- (2) 順序立てて体系的な知識や理論、技法を学べるように、授業科目の学年配当などを工夫するとともに、教員同士で相互に連携して担当科目間の一貫性を確保します。

③教育・指導の方法

- (1) 対面やオンライン、あるいはそれらを組み合わせた形態の講義のほか、実験・実技・実習及びフィールドワーク等による実践的学習や体験学習をバランスよく組み合わせて学修効果を高めます。
- (2) 学生が主体的学修と問題解決法を修得していくことを目指して、ディスカッションやプレゼンテーションなどを取り入れた授業を積極的に行います。

④学修成果の評価

- (1) 授業科目の学修成果を評価するために、授業科目担当教員は、測定する到達目標の特性に応じて、筆記試験、レポート、論文、作品、発表、活動内容等により多面的に、また公正かつ的確な評価を行います。
- (2) 個別の授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示します。
- (3) 成績評価は成績評価基準に基づき判定します。
- (4) 教育課程を通した学修成果を、各授業科目の成績、取得単位数、G P A及び外部試験の得点等を用いて総合的に評価します。
- (5) 成績評価の結果は、評価分布等を使用して定期的に点検を行ない、必要に応じて教育方法等の改善を行います。

【入学者受入れの方針 AP（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点で見据えながら、広い視野と深い教養及び基礎的・専門的な知識・技術を修得することで、現代社会の変化に伴う様々な教育課題や幅広い地域の教育課題に応えることができる、人間性豊かで高度な実践力をもった教員の育成を目的としています。

そのため、以下に示すような人を広く求めます。

1. 現代社会の幅広い分野の諸問題に興味・関心をもつとともに教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの教育と社会的活動に関わる問題解決に意欲的に取り組む人。
2. 高等学校までの教科等の学習に基づく幅広い基礎的学力や技能を備え、専門職としての教員に必要な知識・技能の修得に積極的に取り組む人。
3. 主体的な行動力や他者との基本的なコミュニケーション能力をもち、多様な人々と協働して学ぼうとする人。

◆入学者選抜の基本方針

教育学部では、大学入学までに身に付けておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視してい

ます。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。（詳細は、入学者選抜要項、学生募集要項を参照）

- ・一般選抜（全課程）では、大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査等で各コース・専攻に応じて、国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストを課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能を評価するとともに、調査書や推薦書等を参考にしながら、各コース・専攻の特性を踏まえた面接、実技等を実施し、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・総合型選抜Ⅰ（私費外国人留学生入試）では、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を課すとともに、個別学力検査等で各コース・専攻に応じて、国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、各教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。

教育学部 共同教員養成課程

卒業認定・学位授与の方針 DP（ディプロマ・ポリシー）

◆人材育成の目的・学位授与の方針

教育学部は、児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成を目的とします。

○小中連携教育コース

小中連携教育コースでは、教育学部の教育目的を踏まえ、小学校から中学校までの義務教育9年間における児童・生徒の心身の発達過程の特性に応じた教育の系統性を理解し、各教科の本質や意義、教育内容、学習指導方法について造詣を深め、実践的な指導技術を身につけた教員養成を行うことを教育目的とします。こうした本コースの教育目的に基づいて編成・実施する教育課程において所定の単位を修得し、教育学部の学修成果及び大学が定める学修成果を獲得した者には、学士（教育学）の学位を授与します。

○教育支援探究コース

教育支援探究コースでは、教育学部の教育目的を踏まえ、現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題の解決を視野に入れつつ、児童・生徒の生活・発達・学習について、教育学や心理学、児童教育、特別支援教育などの観点から専門的な知識や技能を学び、児童期から青年期にかけての子どもたちの心身の発達や学びを支えるための教育能力をもった教員養成を行うことを教育目的とします。こうした本コースの教育目的に基づいて編成・実施する教育課程において所定の単位を修得し、教育学部の学修成果及び大学が定める学修成果を獲得した者には、学士（教育学）の学位を授与します。

熊本大学が定める学修成果

豊かな教養

- ・文化・社会に関する一般的な理解と関心を持っている。
- ・自然・生命に関する基本的な理解と広い視野を持っている。

確かな専門性

- ・教職・教科及び教科教育等に関する基本的理論・概念について説明することができる。
- ・教員として必要な知識・技能を持っている。

創造的な知性

- ・教職・教科及び教科教育等に関する課題を発見し、解決のために個人やチームで取組み、その解決方法や成果を提案することができる。

社会的な実践力

- ・社会に対する幅広い関心を持ち、人々や社会との関わりの中で自分を見つめ、教員として必要なコミュニケーション能力と倫理観を身に付け、社会に貢献することができる。

グローバルな視野

- ・国際社会に積極的に参加するために必要な外国語運用能力と異なる価値観や文化に対する理解力を持ち、国際感覚を身に付けています。

情報通信技術の活用力

- ・現代の社会生活に求められる情報通信技術（ICT）を活用するために必要な知識・技能・倫理を身に付け、情報の収集・分析・加工・発信を行うことができる。

汎用的な知力

- ・あらゆる専門分野や社会生活の基盤として求められる読解力、文章表現力、数的処理能

力を身に付けています。

教育課程編成・実施の方針 CP（カリキュラム・ポリシー）

本学部の学位授与の方針を踏まえ、教員として必要とされる専門的・実践的な知識や技能の修得を目的とするとともに、複数の校種の教員免許取得を可能とする教育課程を編成します。

①教育課程の編成

- (1) 効果的に学修成果を上げるために、教養教育科目と専門教育科目を順次的・体系的に配置した教育課程を編成します。
- (2) 教養教育科目については、教員等に求められる資質能力を高めるために、豊かな人間性の基盤となる広い視野と深い教養を身に付ける科目を配置します。
- (3) 専門教育科目については、より多面的・多角的な視点から教員として必要とされる体系的な知識や技能の修得を目的として、各分野に対応した以下の科目を学びの順次性・学問的体系性に基づき配置します。
 - 1. 学校教育に関わる基礎的知識・技能を修得する科目
 - 2. 教育分野の現代的課題を発見し解決に取り組むための専門的知識・技能を修得する科目
 - 3. 確かな指導力を身につけ教員としての資質能力の向上を目的する科目
 - 4. 教科の指導法、各校種に関わる専門性、子どもの発達への理解、それらに基づく教育段階の連携・接続の在り方を探求し、子どもへの実践的指導力を修得する科目
 - 5. 多様な文化や価値観、地域社会との関わりについて知見を深め、協調性、協働性を育てる科目
 - 6. 教員としての倫理観と社会的責任感を身につけた、自律した人材を養成する科目
 - 7. 4年間にわたる学修の集大成として、学生自ら定めた研究課題について取り組む卒業研究

②教育の実施体制

- (1) 授業科目の教育内容ごとに、その分野の授業を行うのに適した専門性を有する教員が講義を担当し、科目によっては多面的・多角的な考察を可能とするために複数の担当教員を配置します。
- (2) 順序立てて体系的な知識や理論、技法を学べるように、授業科目の学年配当などを工夫するとともに、教員同士で相互に連携して担当科目間の一貫性を確保します。

③教育・指導の方法

- (1) 対面やオンライン、あるいはそれらを組み合わせた形態の講義のほか、実験・実技・実習及びフィールドワーク等による実践的学習や体験学習をバランスよく組み合わせて学修効果を高めます。
- (2) 学生が主体的学修と問題解決法を修得していくことを目指して、ディスカッションやプレゼンテーションなどを取り入れた授業を積極的に行います。

④学修成果の評価

- (1) 授業科目の学修成果を評価するために、授業科目担当教員は、測定する到達目標の特性に応じて、筆記試験、レポート、論文、作品、発表、活動内容等により多面的に、また公正かつ的確な評価を行います。
- (2) 個別の授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示します。
- (3) 成績評価は成績評価基準に基づき判定します。
- (4) 教育課程を通した学修成果を、各授業科目の成績、取得単位数、G P A及び外部試験の得点等を用いて総合的に評価します。
- (5) 成績評価の結果は、評価分布等を使用して定期的に点検を行ない、必要に応じて教育方法等の改善を行います。

【入学者受入れの方針 AP (アドミッション・ポリシー)

◆求める学生像

教育学部（共同教員養成課程）では、アドミッション・ポリシーに適合する人材を選抜するために、一般選抜、学校推薦型選抜Ⅱ等を実施し、多様な人材を積極的に受け入れることを目指しています。そのため、以下に示すような人を広く求めます。

1. 現代社会の幅広い分野の諸問題に興味・関心をもつとともに教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの教育と社会的活動に関わる問題解決に意欲的に取り組む人。
2. 高等学校までの教科等の学習に基づく幅広い基礎的学力や技能を備え、専門職としての教員に必要な知識・技能の修得に積極的に取り組む人。
3. 主体的な行動力や他者との基本的なコミュニケーション能力をもち、多様な人々と協働して学ぼうとする人。

◆入学者選抜の基本方針

◎小中連携教育コース・小学校教育主免専攻

大学入学までに身に付けておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。
(詳細は、入学者選抜要項、学生募集要項を参照)

- ・一般選抜では、大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストを課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能を評価するとともに、調査書や推薦書等を参考にしながら、コース・専攻の特性を踏まえた面接、実技（音楽のみ）等を実施し、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・総合型選抜Ⅰ（私費外国人留学生入試）では、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、各教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。

◎小中連携教育コース・中学校教育主免専攻

大学入学までに身に付けておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

(詳細は、入学者選抜要項、学生募集要項を参照)

- ・一般選抜では、大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、実技、面接等のうちから必要な科目を課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・総合型選抜Ⅰ(私費外国人留学生入試)では、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接、実技(保健体育のみ)等のうちから必要な科目を課し、各教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。

◎教育支援探究コース・発達支援専攻

大学入学までに身に付けておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。

(詳細は、入学者選抜要項、学生募集要項を参照)

- ・一般選抜では、大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・総合型選抜Ⅰ(私費外国人留学生入試)では、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、各教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。

◎教育支援探究コース・特別支援教育専攻

大学入学までに身に付けておくことが期待される資質・能力として、子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視します。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。(詳細は、入学者選抜要項、学生募集要項を参照)

- ・一般選抜では、大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職(特別支援教育)への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストを課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能を評価するとともに、調査書や推薦書等を参考にしながら、コースの特性を踏まえた面接を実施し、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職(特別支援教育)への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協

働して学ぶ態度についても評価します。

- ・総合型選抜Ⅰ（私費外国人留学生入試）では、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、各教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職（特別支援教育）への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。

教育学部 養護教諭養成課程

卒業認定・学位授与の方針 DP（ディプロマ・ポリシー）

◆人材育成の目的・学位授与の方針

教育学部は、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的・連続的かつ多面的・多角的な視点から理解し支援するための確かな専門性と、現代社会の複雑で多様な教育課題に柔軟に対応できるしなやかな実践力を兼ね備えた、人間性の豊かな学校教員の養成を目的とします。

養護教諭養成課程では、広い視野、深い教養と思いやりの心をもった豊かな人間性を基盤とした養護教諭を養成します。そのために、健康相談活動を含む健康管理、健康教育に必要な知識・技術を修得する養護専門科目及び発展途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、教育方法等の理論と技術を修得する教職専門科目を学びます。これにより養護教諭養成課程では、子どもと教育に対する幅広い関心を持ち、論理的思考力を身に付けた高度の教育実践力、子どもの心身の健康課題への対応力を備えた養護教諭の養成を目標としています。

このことを踏まえ、教育学部の学修成果及び以下に示す大学が定める学修成果を達成すべく編成・実施された教育課程において、教養教育では幅広い分野の知識、分野の特性に応じた知識・能力を身に付けるとともに、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に、学士（教育学）の学位を授与します。

1. 発達途上にある子どもたちの体と心の問題に対して、専門的な立場から理解し、実践的に対応・指導できる。
2. 健康管理、健康教育、健康相談活動に関する専門的知識を身に付け、課題を分析し、解決するために活用できる。
3. 子どもたちの体と心の諸問題を広い視野で多面的に捉え問題を解決することができる。
4. 学校内外の人たちと、協働しながら解決していくためのコミュニケーションができる。

熊本大学が定める学修成果

豊かな教養

- ・健康管理・健康教育の推進に必要な人文科学・社会科学、自然科学・生命科学に対する一般的な知識と理解を持っている。
- ・健康管理・健康教育の推進に必要な知を高めていく主体的な学習態度が備わっている。

確かな専門性

- ・子どもの心身の健康課題に取り組むための健康管理・健康教育に関連した、幅広い看護、医学、公衆衛生、保健、健康相談等の基本的知識と技術を身に付けている。
- ・保健科教員としての力量を有し、学校現場において児童生徒の心身の健康教育を行う中心的役割を果たす能力を備えている。
- ・養護学の前提・基礎となる基本知識・技能を身に付けている。
- ・養護学の最新動向について把握している。
- ・養護学の前提となる基本的理論・概念及びその研究方法について理解している。
- ・養護学の中の保健教育に関する最新情報・データを分析し、課題設定と解決法を見出すことができる。
- ・健康相談活動・保健指導・看護の実際を学び、研究的視点・分析・解決の方向性を説明することができる。
- ・学内外の実習及び臨地での体験を通して、応用や問題解決の技能を身に付けている。

創造的な知性

- ・文献の読解力を身に付け、その要点をつかめる。
- ・分析結果に基づいた論理的考察、概念化能力を身に付けている。
- ・情報収集・分析方法を学習し、研究課題設定・解決能力を身に付け、発表・討議により考えを深めることができる。

社会的な実践力

- ・研究グループの中で討論し、分かりやすい発表を行うことができる。
- ・グループ内討議・発表を行うことができる。
- ・ロールプレイ、グループ活動、ディスカッション、シェアリング、プレゼンテーションなどの方法を取り入れることができ、それを通じてチームワーク、対人関係・コミュニケーション能力、倫理観を身に付けています。
- ・児童生徒への対応能力を身に付けています。
- ・衛生・公衆衛生教育を通じ、市民性・公共心、社会参加意欲を身に付けています。
- ・施設・病院・学校等の臨地における実習を通じ、養護教諭としての実践的能力を身に付けています。

グローバルな視野

- ・英語の文献を読解し、研究に活用するとともに英語の活用能力を高め、国際的な健康に関する課題、価値観や文化を理解し、国際的な視野の中で考察する力を身に付けています。

情報通信技術の活用力

- ・研究の分析結果及び発表のプレゼンテーション作成を通じて、社会生活に求められる情報通信技術を充分に活用することができる。そのために必要な知識・技能・倫理を身に付けています。

汎用的な知力

- ・卒業研究をまとめ論文化していく過程において、文章表現の技能や数的処理能力を身に付けています。
- ・国内海外問わず様々な文献を精読することができます。
- ・調査研究等において、高度なデータの集計や処理の方法について理解している。
- ・専門分野だけでなく社会生活の基盤としてこれらの知力を身に付けています。

教育課程編成・実施の方針 CP（カリキュラム・ポリシー）

①教育課程の編成

1. 養護教諭に求められる資質能力を高めるために、必要な知識・技術を学ぶ専門科目及び発達途上にある子どもたちを専門的立場から理解し、教育方法等の理論と技術を修得する教職専門科目等から総合的に学修することができます。
2. 保健管理、保健教育、健康相談活動、保健室経営、保健組織活動に当たる養護教諭に必要な専門的内容について体系的、段階的、個別的にバランスよく学修することができる。

②教育の実施体制

1. 授業科目の教育内容ごとに、その分野の授業を行うのに適した専門性を有する教員が講義を担当し、科目によっては多面的・多角的な考察を可能とするために複数の担当教員を配置します。
2. 順序立てて体系的な知識や理論、技法を学べるように、授業科目の学年配当などを工夫とともに、教員同士で相互に連携して担当科目間の一貫性を確保します。

③教育・指導の方法

教育課程においては、各科目の目的及び学修目標に応じ、講義・演習・実習等の様々な方

法・形態により授業を実施し、学生が主体的・能動的に学び、人材育成の目的及び学位授与の方針に相応しい資質・能力を身に付けることができるよう科目を配置します。

④学修成果の評価

カリキュラム・ポリシーに沿って実施される各授業科目の学修成果、取得単位数、GPA 及び外部試験の得点等を可視化することによって、教育課程全体を通した学修成果の達成状況を測定・評価します。

学修成果の評価は、各科目の目的及び学修目標を踏まえ、科目毎にシラバスに示す評価方法・基準により、筆記試験、レポート、講義・演習・実習等への積極的な参加等により行うものとし、公正かつ的確に実施します。

【入学者受入れの方針 AP (アドミッション・ポリシー)

◆求める学生像

養護教諭養成課程では、広い視野と深い教養をもった豊かな人間性を基盤とした養護教諭の養成のため、必要な基礎的・専門的な知識・技術を修得させ、併せて主体的な課題探究能力を育成することを目的としています。このことを踏まえ、次のような人を広く求めます。

1. 養護教諭を目指す強い意志と情熱を持ち、子どもの心身の発達、健康課題、健康管理、健康教育に関心を有する人
2. 自ら学ぼうとする学習意欲があり、高等学校までの教科（例えば国語・数学・外国語等）の基礎的知識・技能を活用して問題を解決できる能力を持つ人
3. 子どもの教育と社会的活動に幅広い興味と関心を有する人
4. 必要なコミュニケーション能力と協調性を備えている人
5. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

◆入学者選抜の基本方針

養護教諭養成課程では、大学入学までに身に付けておくことが期待される資質・能力として、心身の健康教育を中心とする子どもの教育に対する幅広い関心と情熱、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視しています。また、以上の学生を選抜するための基本方針として、多様な学生を評価できる入試を提供します。（詳細は、入学者選抜要項、学生募集要項を参照）

- ・一般選抜では、大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職（養護教育）への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストを課し、高等学校までの教科の基礎的知識・技能を評価するとともに、調査書や推薦書等を参考にしながら、コースの特性を踏まえた面接を実施し、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職（養護教育）への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。
- ・総合型選抜Ⅰ（私費外国人留学生入試）では、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を課すとともに、個別学力検査等で国語、数学、外国語、面接等のうちから必要な科目を課し、各教科の基礎的知識・技能と、論理的思考力・判断力・表現力等及び教職（養護教育）への意欲を総合的に評価し、選抜を行います。なお、面接においては、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度についても評価します。